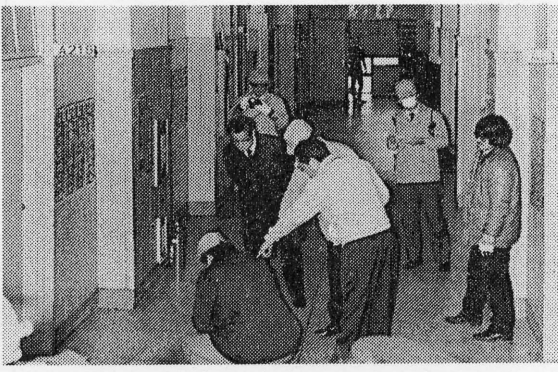


京大で内ゲバ？殺人

鉄パイプの男数人、襲う



福島さんが殺されていた京大教養部A号館2階の廊下

学部で復讐した。大学の話では福島さんは中核派系の活動に加わっていたとみられる。府警などの調べでは京大は今年三月末の吉田寮魔殺事件がきっかけで、事件直後、学部内部でも闘争方針をめぐって対立があり、事件直後、鉄パイプを持った若い男数人が立ち去るのを捜索に出席の学生らが目撃していることから、これら対立するグループによる犯行ではないかと割り出しを急いでいる。

第一発見者の高乗さんは「階下事務室にいた二階で現場の教養学部キャンパスは本部キャンパスの南側の一角。事件当時教養学部では五六百人が二時限目の授業を受けていたが、事件を自撃した教官が教室に入り、「男やがらんでいる」と駆け込んだら、学生の一は「外に出る」と男がヘルメット姿の五六人に取り囲まれて殴られ倒れていた」と話していた。

現場の教養学部キャンパスは本部キャンパスの南側の一角。事件当時教養学部では五六百人が二時限目の授業を受けていたが、事件を自撃した教官が教室に入り、「男やがらんでいる」と駆け込んだら、学生の一は「外に出る」と男がヘルメット姿の五六人に取り囲まれて殴られ倒れていた」と話していた。

機動隊が警戒、検証

現場の教養学部キャンパスは本部キャンパスの南側の一角。事件当時教養学部では五六百人が二時限目の授業を受けていたが、事件を自撃した教官が教室に入り、「男やがらんでいる」と駆け込んだら、学生の一は「外に出る」と男がヘルメット姿の五六人に取り囲まれて殴られ倒れていた」と話していた。

た教養部に対する主導権をめぐって中核派と京大同学会系の学生、一部学外セクトの対立もある。

京大が緊急会議
京大の話は学内で死亡事件が起きたのは初めて。事態を重視した京大では、同日昼

前 西島総長が各専部長、研究所長を招集して緊急全学部の局長会(十五人)を開き、事件の概要を報告した。

女子駅伝

Vの笑顔晴れや

鹿児島チーム本



優勝あいさつに京都新聞社を訪れ、喜びを語る鹿児島チーム (本社貴賓室)

冬の都大路を走ってきた感動で包んだ第四回全国都道府県対抗女子駅伝大会で、見事に初優勝した鹿児島県チームの代表が二十日、京都新聞社を訪れ初Vの感激をかみしめた。優勝の興奮から一夜明けたこの日、竹之内宏監督、里山弘美・晴美、田中芽選手ら七人はユニホーム姿で京都新聞社に元気な姿を見せた。激しいデッドヒートの末につかんだ念願の初優勝。昨夜は県人会の祝勝パーティーなどで遅くまで祝福攻めたが、選手たちは疲れた表情も見せずに晴れやかな表情。坂上守男社長が「優勝おめでとう。抜き抜かれた内容のあるレースだった。2時間22分59秒というタイムも素晴らしい」と祝福。このあと、西村二郎専務、増田正藏取締役、木下輝一編集局長

京大殺人

対立セクト犯行?

府警が被害者は中核派幹部 捜査本部



福島慎一郎さん

京都大学教養部(京都市左京区吉田二本松町)構内で同大学教育学部三回生福島慎一郎さん(25)同区丸太町通川端東入ル、京大熊野寮内IIが

「荒廃への岐路」

西島総長、苦渋の会見



西島総長

二十日、京大教養部で起きた京大生殺人事件で、西島安則総長は朝尾直弘学生部長を伴って同日午後、記者会見し、「殺人という暴力事件については非常に残念。社会にも申し訳ない。この事件は大学が荒廃への道をたどるか否かの岐路であるとの重大認識に立ち、二度と起こらぬよう決意を新たにした」と苦悩の色を深めたという。

会見で総長は、事件の詳細を待たないが、このような、大事件としては前代未聞の事態については非常に怒りを覚える。同時に、大学は教育・研究の場として社会への責任

頭を殴られ、死亡した事件で京都市府警警備一課と川端署は二十日午後、殺人事件として捜査本部を設置、本格的な捜査に乗り出した。その後の調べで、福島さんは中核派の全学連副委員長代行とわかり、学連副委員長代行とわかり、府警は同派と対立するセクト

の初め。その後の調べによらぬ、二十日午前十時すぎ、教養部△号館一階廊下で、四、五人の男が鉄パイプなどのもので

頭を合計一五回派走した。福島さんは福岡出身。五十四年に京大卒後、五十五年の二年間、熊野寮自治会

委員長を務めた。昨年十一月の国鉄施設に対する全国同時多発テロら事件で中核派全学連委員長ら幹部が逮捕された

た。京大では、自治会活動などの主導権をめぐって中核派と他のセクトの間で対立が続いており、昨年十一月には中核派が教養部構内で革マル派の機関紙上で明らかにしている。

府警は、こうしたセクト間の対立を背景とした計画的犯行との見方を強め、捜査している。

また、今後の問題について同総長は「今省内でどんな議論を戦わすことについては異論はない。しかし流血問題や落命という事態は見逃せぬ。当面恐れられるが、暴力事件の連鎖反応だが、尾を引けば大学の荒廃にもつながりかねない。重大な分かれ道だとの認識に立ち、事件の背景を把握したうえで決意を新たに適切な対処法を考えた」と述べた。

警査庁の調べでは、昨年全国で起きた過激派セクト間の抗争事件は計十二件、死者が出たのは、五十七年二月、東京都荒川区のアパートで革マル派の活動家が殺されて以来四年ぶり。

教養部内など捜索 府警は二十日午後、事件の背景を探るため中核派が京大での拠点にしてるとみられる教養部内の尚賢館と前進社京都支部(下京区寺町通松原

元組事務所に2発撃ち込む 伏見・醍醐 京都市伏見区醍醐秦奈志町

日通を陸運界が国際的な複合輸送機関へと脱ぎさせるなどの功績を残した。

須賀 隆賢氏 今が、りゆ うけん浄 土室隆徳派 元門圭、東 山中、高校 元校長(二十日午前六時三十分、心不全のため京都市下九丁の京都武田病院で死去。九十七歳。愛知県出身、告別式は二十日午前十一時から自らの京都下京区東洞院通七条一丁目下東塩小路町の正行(よこぞとま)院で、喪主は正行



捜索を受けた京大教養部尚賢館

上ル)の二カ所を捜索、ピラミッドを採取した。

二〇ノ七七、巷ル二階ノ男 觀光、事務所大崎男さん 短銃を撃ち去られたような跡がある」と十九日夜、二〇番通報があり、山科署が二十日現場検証した結果、短銃一発が同事務所にと撃ち込まれた

は妻和子(かず)さん。

長 元運輸 事務次官) 二十日午前七時三十四分、肺がんのため東京都港区の虎の門病院で死去。七十二歳。新潟県出身。自らは京都形並区天沼一ノ二九ノ十二、葬儀・告別式は二月十五日午後一時から東京都港区南青山二ノ三三ノ二で開かれ、日本通運社葬として行われる。葬儀委員長は同教同社社長、喪主は妻和子(かず)さん。